

2025年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる内容で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
 B : よい
 C : 一部検討を要する
 D : 改善を要する

保育所・こども園名 【 門司保育所 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	A	A
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	A	A
評価の根拠 会の保育理念に基づいて、園の保育方針目標を作成している。また全職員で確認し、保育内容に反映させているため。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	A	A
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	A	A
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	A	A
評価の根拠 適切な環境を創意工夫して整え、子ども主体の保育を念頭に置き、子どもと共に考え保育をすすめることができているため。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 園児の健康や周囲環境に対して、マニュアルに基づき、十分に留意し保育を進めている。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	B	B
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 行事の実施については、毎年見直しを行っており、今年度もふりかえりの会で意見が出ているので改善していく予定のため。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	B
評価の根拠 調理担当者と保育者が協力しながら年齢に合った食育活動をすすめるよう努力しているが、給食職員数の関係で十分にできない部分があったため。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠 役割分担は明確に職員に周知することができている。会議や打ち合わせ等は適時行っているが、時間の捻出方法について考えていく必要があるため。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生やクラス廻りの清掃など、気持ち良い環境に心がけている	A	A
評価の根拠	保健衛生や安全管理について研修を受けた職員から報告を受ける機会を持ち、周知するとともに、環境の整備にも一人一人が気を配るようにしているため。	
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
② 研修報告を園内で実施している	A	B
評価の根拠	研修参加を積極的に行うことができたが、研修報告の機会をうまく作ることができず、十分に内容の共有が出来なかった部分があるため。	
9. 情報管理について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
評価の根拠	情報の取り扱いについては、保管は施錠し管理している。全職員が個人情報保護、守秘義務を理解し遵守しているため。	
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
評価の根拠	施設内外の安全点検は、北九州市や自園のチェックリストに沿って行っているため。	
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	A
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
評価の根拠	行事への参加や、日々の情報交換を通して、自園の保育内容を理解してもらう機会を多く持つことができたため。	
12. 開かれた園づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	A	A
② 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実している	A	A
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠	地域に開かれた保育所にしていく必要性を職員に説明し、職員の理解が進んだ。また出前保育、にこにこ広場等の活動で、地域に出っていく機会を多く持つことができたため。	
13. 情報発信について		
① 保護者に向けて、コドモン、園だより等で情報発信に努めている	A	A
② 地域や小学校等に向けて、行事、子育て支援等の周知に努めている	A	B
評価の根拠	情報発信に努め、周知できるようにしているが、小学校との情報交換については努力していく必要がある。	
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている	A	A
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている	A	A
③ 園児や保護者のプライバシーに配慮し、適切な対応や関わりをしている	A	A
評価の根拠	外部研修、園内研修で学びの機会が持てるようにしている。プライバシーの確保が必要な話については新たに設けた面談室を利用し、話が外に漏れないようにすることができている。	
15. 総括		
年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をご記入ください。		
・前年度の課題に対する自己評価及び前年度よりも改善・充実したと考えられる点		
・例年実施している行事後の保護者アンケート、職員で行うふりかえりの会を通じて、多角的な意見を汲み取り、集約されたニーズを精査し、既存の行事や保育内容の見直しが必要な項目を明確化することができた。今後も現状にとどまらず、変化を恐れぬ姿勢を持ちたいと思う。		
・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点		
・行事については、毎年見えてくる反省点を一つずつ解消し、より良いものへと進化させていきたいと考えている。		
・打ち合わせ時間の確保については、今年度も工夫を凝らしたが、まだ十分とは言えない。次年度はさらに踏み込んだ時間管理の工夫や情報共有のデジタル化などを検討し、より密度の高い環境を整えていく必要がある。		